

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		旅行代理店（従業員） 通信会社（営業担当）	・海外旅行の取扱は前年を上回り始めている。原油価格が安定しており、4月以降の需要増加にかなりの期待感がある。 ・来客のうち、携帯電話の購入以外の客が5割を超え、来客数の増加が期待できる。今後、いかに販売につなげるかが課題である。
	変わらない	百貨店（営業担当）	・買上客数の落ち込みに改善が見られない。春物の通勤着が売れる時期であるが、夕方にOL層の来店が見られないため、売上増加が見込めない。
		百貨店（営業担当）	・目玉商品やタイムサービスなどを実施しているが、ミセス客は定価の5割を切らないと財布のひもを緩めない。この傾向はしばらく継続する。
		乗用車販売店（総務担当）	・新車の受注水準は、当面は回復が見込めない。サービス部門の収益に大きく依存する状況が続く。
		自動車備品販売店（従業員）	・個人消費は下がる一方だが、必要な物に対する購入態度は変わらない。
		高級レストラン（スタッフ）	・1か月以前に申し込む10名以上の予約は例年並みであるが、少人数の接待や会合が激減している。特に金融（銀行・証券・生保）、建築、工業組合系の悪化が続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4月の宴会は伸び悩み、前年を大きく下回る見通しである。
		通信会社（社員）	・景気悪化の影響は受けるものの、新しい携帯電話の発売により全体的にはあまり変化がない。
		通信会社（役員）	・地上アナログテレビ放送の終了予定まで2年5か月を切るなか、家庭のアナログテレビのデジタル化への関心が着実に高まっており、ケーブルテレビサービスの営業面のプラス効果がしばらく継続する。
		その他レジャー施設（職員）	・新規入会者数の増加が期待できない。
		やや悪くなる	商店街（代表者）
	一般小売店〔精肉〕（店長）		・競合店のリニューアル等もあり、来客数が減少している。今後、苦しい状況が更に継続する。
	スーパー（店長）		・大型小売店の新規出店の影響が色濃く残っており、将来的にも厳しい状況が続く。来店客でも商品の買い控えは顕著であり、先行きは更に悪くなる。
	スーパー（営業担当）		・客の買物動向を見ると、特売、バーゲンの日の来客数は増えるものの、平日は減少している。安い日に買物をする消費者は今後も増える。
	コンビニ（経営者）		・購買点数が減少しているため、客単価の低下が続く。さらに、新しい競合店の進出があり、この影響で全体の店舗数が増加するため、売上が減少する。
	コンビニ（経営者）		・財布のひもを締めなければという客の話が多くなった。また連日の不況関連ニュースのアナウンス効果で、消費者の催眠状態が続く。
	家電量販店（経営者）		・特別なセールを行うと一時的に売上が伸びるが、セールが終了すると再び前年を下回り、月全体の売上は伸びない。このような状況が続く。
	家電量販店（店長）		・派遣切り、大手企業のリストラなど経済情勢悪化の報道により、今まで以上に消費を抑える動きが進む。
	乗用車販売店（営業担当）		・自動車に関する税制優遇の法律が成立していないため、客の動きは当面止まったままである。
一般レストラン（スタッフ）	・3月決算を前に大手企業の倒産、中小の連鎖倒産などが発生し、消費者は景気に対する不安から支出を抑え、生活防衛に動く。		
観光型旅館（経営者）	・4月以降、予約状況で前年を上回る月がない。また増加していた台湾や韓国からの客も円高の影響か、秋以降はツアーキャンセルの増加が続いている。		
都市型ホテル（スタッフ）	・予約は今一つである。		
タクシー運転手	・夜の繁華街では、会社関連の接待が少なく、個人も家庭で飲酒する機会が多くなり、今後も節約傾向が続く。		
タクシー運転手	・客に節約ムードがまん延しており、今後も厳しい。		

		通信会社（営業担当）	・携帯電話市場の成熟と景気悪化により、携帯電話の売上減少が続く。
		競輪場（職員）	・入場者数は横ばいだが、1人当たり購入額が減少傾向にある。
		住宅販売会社（経営者）	・新規客数の減少が続く。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅、不動産に対する融資が厳しくなっており、融資額が減額される案件が増えていく。
	悪くなる	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・新年度に入ると、雇用調整や給与カットが身の回りに顕在化し、消費は一段と冷え込む。
		百貨店（営業担当）	・春夏物については、メーカーからの供給体制が前年の6～7割にとどまり、カラー、サイズのバリエーションも縮小するなど供給調整が始まっている。また、販売員などの縮小も見られ、今後良くなる要素がない。
		スーパー（店長）	・失業者の増加傾向が続いており、食品業界ですら客単価、買上点数の減少が目立つ。特にし好品が全く売れず、また特売構成比が上がるため利益が出なくなる。
		スーパー（総務担当）	・製造業では工場の稼働日数を減らし、休日を増やしている。また中小企業の倒産等の記事が新聞等に掲載されており、消費者は今後も財布のひもを締め続ける。
		コンビニ（経営者）	・競合店の進出が決定し、競争がますます厳しくなる。
		コンビニ（店長）	・今後、競合店がますます増加し、コンビニの飽和状態が続く。前年のタスポ効果のような明るい要因が見当たらず、今後忍耐が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・来店客の買上点数が目に見えて減少し、財布のひもが固くなっており、この傾向が今後も続く。また消費者はより安い商品に関心があるため、高額商品が売りづらくなる。
		乗用車販売店（経営者）	・景気や予算にそれほど左右されない業種などでも、はっきりと買い控えが感じられ、最大の需要期でも期待できない。景気浮揚策や優遇措置、税制などが先行き不透明なため、消費マインドに悪影響を与えている。
		乗用車販売店（経理担当）	・景気が回復しない限り、自動車の購買意欲をかき立てられる状況ではない。雇用も含めて大変厳しい段階となる。
		住関連専門店（店長）	・住宅事情の悪化の影響が最も大きい。新築需要が増えない限り、現状の打破は難しい。
		スナック（経営者）	・客の会社においても派遣切りや正社員のリストラなどがあり、先行きの見通しが暗い。
		観光型旅館（スタッフ）	・3月以降の予約状況は、前年を15～20%下回っている。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行が安くなり人気があるというニュースが出てきたが、期待はできない。個人旅行の落ち込みは見られなくても、団体旅行は完全に減少していく。
		テーマパーク（職員）	・4月以降の春の旅行や団体ツアー客の予約が全くない。また海外からの観光客も円高の影響で例年より動きが鈍い。
		住宅販売会社（従業員）	・雇用の不安感が先行し、長期の住宅ローンを組むことためらいが見られ、減税効果もあまり期待できないため、今後も厳しい。
		住宅販売会社（従業員）	・今後、客に買い控えなどの動きがますます出てくる。
		住宅販売会社（従業員）	・有効な経済政策と政治の安定が見られないため、住宅販売は期待できない。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経理担当）	・在庫調整が進んでいるため、4月以降の新製品の見積が動き出している。急激な変化は見込めないものの、上昇する兆しはある。
		不動産業（経営者）	・2、3か月先には、不動産取引は活発にはならないまでも、動きが出てくる。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・衣料については、ニーズに合った新商品に期待するしかない。一方、非衣料の車両関係は、全く先が読めない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量から見ると回復の兆しがない。
		輸送業（配車担当）	・2月の荷動きがあまりにも悪く、今後は底ばいの状態がしばらく続く。
	やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・消費の面で低価格志向がますます顕在化してきており、高い商材から安価な商材へ、定番商品から特売商品への購入が進む。
		繊維工業（経営者）	・内外の市況悪化により先行きが全く見えず、1～3月の厳しい受注状況が継続する。受注単価についても厳しさが増しており、量、単価共に苦しい状況が続く。

		プラスチック製品製造業（企画担当）	・3、4月の受注は更に悪化しており、その後も回復の見込みがない。
		通信業（営業担当）	・各企業では、電話関連の設備投資を抑制しており、提案すらできない。元気な企業においても、前向きな投資は抑えており、非常に厳しい状況が続く。
		金融業（融資担当）	・雇用調整、生産調整の動きが継続する。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・大都市の代理店の動向から推測すると、当地では3月以降更に厳しい。
		司法書士	・最近の大手建設業、貸金業の民事再生申立ての影響が今後出てくる。
		税理士（所長）	・大手企業や政府系団体では4月以降の見通しが立たない状況である。この影響を受けて取引先企業でも、4月以降の受注見通しが不透明である。また、消費者心理の冷え込みが続くことも心配である。
	悪くなる	建設業（経営者）	・疲弊の極みにある地方建設業者にとっては、公共事業が多少増えても、過酷なダンピングを繰り返す結果、経営破たんを若干先送りするだけに終わる。
		建設業（総務担当）	・設備投資計画の減少に伴い、各社の受注価格はますます厳しさを増す方向にあり、正常な受注競争が望めない。
		輸送業（配車担当）	・生産調整に伴う在庫の増加により、今後物の動きがますます悪くなる。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・今後も製造業を中心に求人の動きが見られない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・「回復の見通しが全く立たない」という企業が多い。派遣会社では、優秀な人材がいても派遣することが出来ない状況が続く。
		民間職業紹介機関（経営者）	・企業の生産減少が下請企業及び関連企業に波及し、休業日が増える。
		学校〔大学〕（就職担当）	・20年度卒業予定者で、今後内定取消しや勤務条件の変更が出てくる可能性がある。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・雇止めとなった派遣社員の次の仕事がほとんどなく、新年度の見通しが立たない。
職業安定所（職員）		・急激な景気低迷の影響により、中小企業等からの雇用調整助成金の相談が激増しており、今後もこの状況が続く。	
職業安定所（職員）		・今後、倒産する企業がますます増加する。	